



自分への挑戦と 世界への挑戦と。

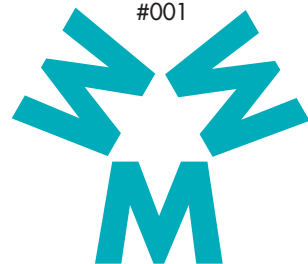
脚がつかないだけじゃなく 身体めぐりが良くなった

年間の平均的なトレーニング時間は週15時間ほど。多いときは週20時間もの練習をこなし、完全休養のオフはコナの直後1週間くらいしかとらないという稲田さん。食事自体の量も多く、温野菜や青魚を多く摂り、プロテインやアミノ酸サプリも取り入れるなど、内容にも常に気を遣っているが、それでも脚のケイレンが悩み。マグ・オンとの出会いに一条の光明を見出した。「普段から脚がつりやすくて、アイアンマンのスイムでは必ず2〜3回はつるんですが、今回は1回もつらなかつ

た。」「コナの1カ月前くらいから毎朝1包摂っていたマグ・オンのおかげで、今までになく調子が良くなったので、序盤についてペースを上げてしまった。バイクコースの入り、コナの市街地では他の選手をビュンビュン抜かしたりして、後で（コーチに）怒られました。」オーバーペースと熱中症で、バイク途中で無念のリタイア。世界記録更新は、2015年への宿題となった。

Mag-on Your Challenge

#001



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

稲田 弘さん

アイアンマン世界選手権（80歳以上）
コース記録保持者



Hiromu Inada

アイアンマン・ハワイで最高齢カテゴリー（80歳以上）のコースレコード（2012年）をもつ「現役世界王者」。69歳からトライアスロンをはじめ、初出場の2011年から4年連続IMハワイ参戦。今回のコナではハードなコースコンディションの中、ペース配分がうまくいかず完走はならなかったが（バイクパートでリタイア）、山本淳一コーチとの二人三脚で、自身のもつ世界記録更新に挑み続ける。1932年11月19日生まれ。

稲田弘さんが2012年にコナでマークした記録15時間38分25秒は、オーバー80のコースレコード。その後、今回も含め80歳以上のコナ完走者は出ていない。つまり、アイアンマンでは日本で唯一の「現役世界王者」だ。

その稲田さんにとってもコナでの闘いは決して楽なものではない。13年は完走こそ果たしたもののタイムオーバーで記録なし。今回もコナウインドが吹き荒れ、世界各国を代表する20代、30代のアスリートたちも苦しむ中、フィニッシュラインは遠かった。

「コナの1カ月前くらいから毎朝1包摂っていたマグ・オンのおかげで、今までになく調子が良くなったので、序盤についてペースを上げてしまった。バイクコースの入り、コナの市街地では他の選手をビュンビュン抜かしたりして、後で（コーチに）怒られました。」

オーバーペースと熱中症で、バイク途中で無念のリタイア。世界記録更新は、2015年への宿題となった。



(写真左) 80歳以上の参加者が稲田さんひとりだった2013年のコナは、気管支炎にバンクとトラプル含みのレースとなり、制限時間の5分後にフィニッシュ (同右上) 2012年、2回目のコナ参戦で80歳以上のアスリートとしてのコース記録をマーク (同右下) 同じく2012年大会、オーバー80カテゴリー優勝のトロフィーとチャンピオンジャージ。アイアンマンの歴史に名を刻む、レジェンドのひとりとなった



闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on 〈マグ・オン〉

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-onは、海水からとれた国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

30包入り ¥6,900 (税別)

8包入り ¥2,000 (税別)

マグネシウム200mg

1包3.7g

レモンフレーバー／顆粒タイプ

カルシウム、各種ビタミン類も配合



30
Packet



8
Packet

顆粒スティック裏面には闘い続けるアスリートに捧ぐ24種類メッセージを



た。それに、レースのときだけでなく、毎日の体調が良くなって、疲労の抜けも良い気がする。来シーズン、結果を出すためにもマグ・オンは継続して摂っていきたいと思っています」

挑むのは自分自身。この普遍的なテーマが、稲田さんの場合、そのまま世界記録へのチャレンジとなる。

日本の海でとれた水溶性マグネシウムを味方に、日本を代表するオーバー80アスリートの大いなる挑戦は続く。